

副 議 長 受付番号第4号、吉田功君の一般質問を許します。登壇願います。

3 番 吉 田 議長のお許しを頂きまして一般質問をさせていただきます。受付番号第4号、質問議員、第3番 吉田功。松田町における給食費の保護者負担軽減のための支援と松田町の活性化について御質問いたします。

1、松田町における給食費について保護者の負担軽減のために町の補助額を増額するお考えはありますか。

2、松田町の活性化のためにお伺いいたします。

1点目、長期的な展望を持った道路整備計画について、どのような考えをお持ちですか。

2点目、今後のプレミアム商品券の発行計画はどのようにお考えですか。

御回答のほうよろしく願いいたします。

町 長 それでは吉田議員の御質問に随時お答えをさせていただきます。

1点目の御質問ですが、近年、燃料費や食材費の高騰を受ける中、これまで町が増額分を全額負担することにより、保護者の負担を増やすことなく給食の提供を行ってまいりましたが、給食費の食材は国が定める学校給食法に基づき、原則として全額保護者負担とされていることを踏まえ、現在の状況として必要となる値上げを踏み切らざるを得ないとの結論に至り、令和6年度より給食費の保護者負担分を値上げさせていただく予定にて準備を進めているところでございます。その緩和措置として、従来補助額に今回予定している値上げ分の半額を追加し、補助額全体を増額する経費を令和6年度予算において計上しております。今後燃料費や食材費の高騰が収まってきましたら、その時々に合わせて給食費の改定を行い、また予算面についてめどが立てば、段階的に補助額のさらなる増額を行ってまいりたいというふうに考えております。

続きまして2つ目の御質問にお答えをいたします。まず町が管理いたします町道に関しましては、町域の道路整備を計画的に、かつ効率的に推進するため、平成27年に町道整備基本計画を策定しております。この計画には魅力づくり、住みやすさづくり、持続的なまちづくり、にぎわいと交流を育むという基本方針を設定し、将来的な道路網を必要に応じて検討しております。本町は限られ

た平地に2級河川が2本、鉄道が2路線、高速道路や国・県道が集積した地勢と、古くから交通の要衝として栄えてきた町並みから、大規模な開発や道路計画が難しいという特徴がございます。このような中、高規格な道路が整備された影響で、これまでの住みやすさやにぎわいを損なわれたりすることがあってはなりません。さきに述べました町道整備基本計画の基本姿勢を維持しながら、まちづくりに資する道づくりを推進するとともに、本町に集積している既存の国道、県道についても、必要に応じてこのまちづくりと連動した整備や改良を国や県に要望してまいりたいと考えております。

最後に3つ目の質問にお答えをいたします。プレミアム商品券の発行につきましては、町経済と商工振興、並びに生活者支援の両面による物価高騰対策を目的にプレミアム付き商工振興商品券の発行事業を行うこととしております。今回頂いた御質問のプレミアム商品券の発行計画につきましては、プレミアム率30%、販売総額6,000万円、発行総額7,800万円で予定をしており、町はプレミアム商品券発行事業に対しましては、プレミアム率分として1,800万円と、事業費の一部を助成する予算を計上しているものでございます。

さて、これまでの発行事業の状況について申し上げますと、プレミアム商品券発行事業は、過去に商工振興として実施したこともございますが、平成26年度から今年度まで継続して実施してまいりました。直近の3年間ですが、令和3年度は対象者を一般の町内外の方が購入できることとし、プレミアム率30%、発行総額6,500万でした。令和4年度は第1弾として対象を町民のみとし、プレミアム率20%で発行総額3,600万円。第2弾として対象者を一般の町内外の方が購入できることとし、プレミアム率30%、発行総額3,900万円。令和5年度は対象者を町民のみとし、プレミアム率30%で発行総額4,550万円といたしました。なお、平成29年度、30年度、令和元年度は優先予約者を4月1日時点で満70歳以上の方、子育て世代の方、生活保護を受けている方とし、また対象者を住民税非課税の方、3歳未満のお子様がいる世帯と変えて販売したこともありました。こうした経過の中、令和6年度の発行計画のうち、販売方法につきましては、これまで同様に先着順での販売や、電話予約により抽選して発行する方法、

SNSを活用した申込みなど、様々な販売方法について今後町と町商工振興会様にて協議を行い、販売方法を最終的に決定してまいりたいというふうに考えています。以上です。

3 番 吉 田 大変丁寧な御回答、ありがとうございました。再質問させていただきます。昨今の物価の高騰の現状を見ますと、給食費の値上げ自体は一定の理解はできます。しかし、子供や保護者の負担を考えると、給食費については補助支援が必要です。そのために今回、今の御回答の中で迅速な対応については感謝しております。

現状についての質問なんですけれども、給食費の未納については、3年ほど前までには松田町はほぼ、町の手厚い支援によってほぼなかったと記憶しております。現在の様子はいかがなものでしょうか。

教 育 課 長 それではお答えをいたします。給食費の未納につきましては、議員お話しのとおり、町のほうの補助もございまして、現年度分については未納はないというふうに聞いております。以上でございます。

3 番 吉 田 ありがとうございます。そういう意味で、少ないという、ともに支援によって、給食費の未納というのは防げているところというのはあるのではないかと思います。そこで、兄弟姉妹の家庭については…の支援については、今後どのようなお考えなどがありますでしょうか。

教 育 課 長 兄弟姉妹の支援というのは、子供が第3子、そういうところでということでしょうか。現在のところ、個人個人で給食費、自己負担ということでございますので、特にそういった差を設けて支援をしていくというようなのは今のところ計画はございません。

3 番 吉 田 御回答ありがとうございます。ただ、これからですね、やはり子供を多く育てていただきたいというようなことを考えると、その辺についての支援も今後考えていくことも必要なのかなというふうに思っております。ただですね、給食費については、先ほど町長からの御回答があったように、私自身、基本的には子供たちの教育を受ける権利を保障するためには、本来は義務教育においては教科書と同様に給食費も国が保障し、無償とするものであると考えています。



すね、どう考えていくかというところがあります。これについては答弁書にも書いてありますけども、町の基本計画の中で検討路線というものを地域の実情、通行量、安全面、経済面、いろんな面を併せ持ってみて、検討しているという状況でございます。

3 番 吉 田 ありがとうございます。道路づくりが必要ではあっても、1年、2年で計画完成されるものではありません。歩道付きの2車線道路となれば、それこそ30年とか50年を見越して計画を立てていく必要があると考えております。例えば、かつて計画されつつあった健康福祉センターから新十文字橋への県道ができれば、新松田駅南口からその県道に向かってまた県道をつなげることも考えられます。また、JR御殿場線のガードの北側からですね、御殿場線に沿って松田駅に向かって県道ができれば、県道で囲まれた仲町地区の再開発も考えられるのではないかと考えております。さらに、新秦野インターチェンジまで計画されている国道246号線のバイパスが寄地区を通過し、松田山をトンネルで抜けてくれたら、寄地区の交通の便がよくなるばかりでなく、防災や救急・救命の力が向上するとも考えられます。現在の国道246号線は籠場の信号のところから湯の沢までの区間は山側斜面が崩れる心配がされています。ですから、国としても松田山を抜けるバイパスのメリットはあるはずですよ。

そこで、現在、このかわいで国や県への、現在どのような計画について国や県への要望が行われていますか。行われているものがあれば教えてください。

まちづくり課長 御質問というか、提案も含めてだろうと思っておりますけども、何点か頂戴しております。長期的な視点でまちづくりをする、道づくりをする、当然大事な視点であろうかと思っております。大きくお話の提案の中では、特に国・県道のお話が大きいお話でございました。ダイナミックなお話なんですけども、今現在、町内で例えば国や県への要望活動をどんなことをやっているかという点でよろしいですかね。そうしますとですね、1つとしては、新東名の関係が今、町内工事をしております。この関係ですとか、あとは関東国道協会、いろいろな団体がございますけども、246バイパスの促進もそうです。そういった団体を通じて、国のほうに働きかけをさせていただく。また県道に関しましても、様々な場面

を通じてですね、神奈川県さんでも道づくりの構想を持っていらっしゃいます。先ほどお話の中で出たJRの駅前ですね、ガードのお話もございましたけども、基本は今、再開発に即してガード下をどうしていこうかといったような協議というか、議論を少しさせていただいてはおります。

いずれにしても、先ほど言った国に対してのですね、大きい要望活動としまして、議員が今おっしゃったような、例えば寄地区からの大きいトンネルとか、こういった要望等は現時点ではしている内容はございません。

3 番 吉 田 今後ですね、そのような国道・県道についてのいろいろな企画、それからそういう要望等を話し合うとか、それとか意見を町民から聞いていくとか、そういうような計画はございますでしょうか。

まちづくり課長 即座にこういった機会があるという具体的なものはちょっとお示しができませんけれども、今、駅前の関係もしかり、いろいろなまちづくり進めている中でですね、やはり必要に応じて国も県もですね、いろいろな計画づくり、策定の際には市町村に意見を求めてきたりもしていただけます。こういった機会を捉えながら、そういった要望というのをしっかり伝えてまいりたいと考えます。

3 番 吉 田 大変ありがとうございます。確かに町内、町での関わる、直接工事に関わる道路というのも必要なんですけれども、やはり全体にダイナミックな道路計画について、町からいろいろと要望、それとか提案をしていくということも必要なのではないかと思しますので、今後御検討をお願いしたいと思えます。

続きまして、今後のプレミアム商品券の発行計画について質問いたします。プレミアム商品券については、多様な活用ができると思っております。町内の経済活性化はもちろんですけれども、町内の方が使用すれば、先ほど町長からのお話のとおり、生活支援にもなりますし、また町外の方が使用すれば、町外からお金を町内に持ち込んでくれるというような効果もございます。それから、このプレミアム商品券の発行によって、町内の商店の宣伝にもなります。そういう意味では今年度も企画されているということに対して、頑張っていられるなという感想も持ちます。

そこでですね、このプレミアム商品券が使える対象商店というのはどのよう

に決定していくんでしょか。

観光経済課長 対象となる店は、町商工振興会の会員で、プレミアム商品券の登録を頂いた事業者でございます。

3 番 吉 田 それでは、商工会に加入していないような商店というのは、対象にはならないと考えてよろしいんでしょうか。

観光経済課長 現在のこの事業では、おっしゃるとおり対象とはならないということです。

3 番 吉 田 できるだけ多くの小売店が対象になるように設定しますと、松田町は小さな商店に対しても支援しているというような印象、それからそういうような宣伝ともなるのではないかと思います。シャッターが閉まっているような元商店がかなり課題となっておりますけれども、お店を出したいというような事業主がそういうようなプレミアム商品券の対象にさせてもらうようになれば、そういうシャッターが閉まっているようなところを借りてお店を開いてみようかなというような形にもなっていくのではないかと思いますけれども、いかがお考えでしょか。

観光経済課長 今回の御提案のとおり、町としましてもきめ細かな、小さな商店でも支援していくのがごもっともだと思いますが、頂きました御意見を町商工振興会にもお伝えしまして、検討してまいりたいと思います。ただ、会員が減少傾向でございます、そういった意見もあったということでお伝えをさせていただこうと思っています。ただ、会員も減少傾向でございますので、この事業の事業実施主体は町商工振興会でございますので、そのような事業者も積極的に町商工振興会に加入していただきまして、一緒に町を盛り上げていただくようなことがいいと思いますので、御意見は賜りましたので、そういった御意見があったということをお伝えさせていただきます。

3 番 吉 田 大変ありがとうございます。なかなか今の現状の中では、誰もかれも受け入れるというのは確かに難しいことだと思います。ただ、今、課長がお話しいただいたように、それを起爆剤にして商工振興会のほうに加入してもらうように働きかけるなんていうのも、そういう見方とか考え方もあると思います。そういう意味では、このプレミアム商品券はいろいろな可能性を持っていると。い

ろいろな使い方があると考えております。様々な可能性のあるプレミアム商品券を有効に活用できるように、先ほど町長からの御回答もありましたけれども、かつですね、当時販売で売り切れてしまったということで、大変残念だったという声も上がったりしています。先ほどのお話では、今後そういうような販売方法についても工夫をして、また発行回数、販売対象というのも工夫をしてされるということですので、ぜひこのプレミアム商品券が有効に積むように御検討のほどお願いしたいと思っております。

以上をもちまして3番 吉田功の質問を終わりにさせていただきます。

副 議 長 以上で受付番号第4号、吉田功君の一般質問を終わります。

暫時休憩いたします。3時15分から再開いたします。 (15時01分)